

胃・十二指腸潰瘍

の原因は、肉体的・精神的なストレスやアルコールの過飲、刺激性食物の摂取などライフスタイルの乱れ、さらに痛み止めや解熱剤として用いられる非ステロイド性抗炎症薬、抗生物質などの薬剤が攻撃因子として作用し、胃内の防御因子とのバランスを崩すことで発症するとされています。また、近年、人の胃に感染するピロリ菌が潰瘍発症の因子とも言われています。特に50歳以降の年代に陽性率が高く、この菌が胃炎や胃・十二指腸潰瘍の発症に複雑に関係し、さらに胃ガンの発症に深く関わっていると言われています。

胃・十二指腸の検査にはバリウム検査と内視鏡検査がありますが、内視鏡検査の方が診断精度が高く、同時に胃粘膜採取によるピロリ菌の存在診断を行うことができます。

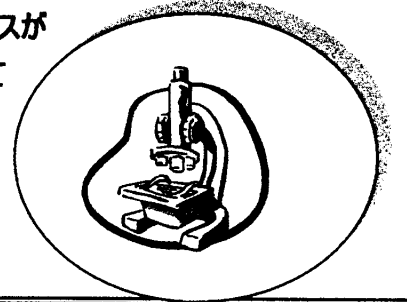
潰瘍は初期の粘膜層の欠損から、進行すると粘膜下層の下の筋層より下のしょう膜層に達したり、時には胃壁を突き抜けることもあります。十二指腸壁も似た構造をしています。潰瘍の状態を内視鏡で確認できたら進行の具合に合わせて治療を行うことができます。ライフスタイルの見直しと併せて内服治療が行われます。また、ピロリ菌に感染している場合には内服による除菌治療が行われます。

潰瘍は一度治っても再発することがあります。胃・十二指腸のつらい症状がとれたとしても、潰瘍が治ったとは限りません。症状がなくなったからといって薬を止めると、薬で保たれていた胃内のバランスが崩れ再発の恐れがあります。そこで再発を防ぐため治療薬を急に止めずに減量して服薬を続けます。これを維持療法と言います。定期的に診察を受け、再発防止に努めましょう。

◇一人で悩まずお気軽にご相談下さい◇

ひらた医院 内視鏡室

(参考: 胃の病気を知ろう② 住友製薬)



日	月	火	水	木	金	土
2006年 ~ 8月 ~						8/12
13 休診	14 休診	15 休診	16	17 AM	18	19
20 休診	21	22	23	24 AM	25	26
27 休診	28	29 夜間	30	31 AM	9/1	2

- 次回のヘリカルCTは 9月26日(火) 9時~12時半 です。
- 8月29日(火) は夜間当番(23時まで診療)です。

食欲が無いからといって冷たいものや、あっさりしたものはかり食べていると、体力を消耗します。少量でも栄養価の高いものを食べましょう。

特に抵抗力が付くタンパク質をしっかりと摂りましょう。肉や卵、魚介類、大豆製品は欠かさず食べましょう。また、食欲を刺激する香辛料や、香りの強いもの、食が進む酢を使うなど料理にも工夫を凝らしましょう！水分補給も忘れずに！

夏バテを

予防しよう

医療法人 健愛会

ひらた医院

胃腸科・肛門科・内科・外科

〒870-1143 大分市田尻 478

☎097-548-7616

✉info@hirataiin.com

☎http://www.hirataiin.com

診療時間: 9時~18時

休診: 日曜・祝日・木曜午後

急患: この限りではありません

院長 平田 孝浩

医学博士

外科専門医

消化器外科認定医

平成14年7月1日 ひらた医院開院